

## 岡山県大会を終えて

岡山県手をつなぐ育成会副会長 二木幸子

昨年十一月十七日(日)に開催しました手をつなぐ育成会岡山県大会(津山大会)では大変多くのみなさまにお越し頂き、一般大会、本人大会ともに盛会のうちに幕を下ろしました。当日、心配していた天候も大きく荒れる事もなく、本場に安堵いたしました。

二年前、県北地域での大会が決まった頃から、津山地域、真庭地域、勝英地域の理事を中心とした運営委員会を立ち上げ、開催時期や内容について話し合いを重ねました。その後、各地域の方々にも加わって頂き実行委員会として動き始めました。五回の会議を経てたどり着いた津山大会は、実行委員の皆様にとつて感慨深いものであったと思います。各方面からのご支援とご協力に感謝いたします。

ここからは本人大会の様子をお伝えしたいと思います。

本年度から、本人表彰についての規程が変更となり、ひろく表彰者を募りましたところ、四十二名の方が表彰対象者となりました。そのうち三十三名の方が、表彰式に参加をされました。みなさん緊張の中にも、誇らしさに満ち溢れている様子がとても心に残っています。また、同席くださったご家族の方や支援をくださったさつている職員のみなさん、会場のみなさんからの拍手はとても暖かく優しい響きでした。

その後、学習会では、津山手をつなぐ親の会本人部会「なかまあず」の活動報告がありました。みんなで発表する内容を考え、紹介の文章を考え、何回も練習を繰り返しての発表でした。会場のみなさんも一緒にダンスを踊ってくれたことがとても嬉しかったそうです。

また、本人発表会では、三人の方が自分の生活や趣味についてのお話をしてくださいました。たくさんの方の前で自分の事を伝える為に、たくさん練習をされた事が伝わってきました。その姿はとてもキラキラしていました。

お昼休憩のあとは、話し合いとレクリエーションにわかれての活動でした。話し合いでは、本人の会からの質問やお願い事を行政の担当者の方に聞いて頂き、お返事を頂きました。いまずぐに解決できる問題ばかりではありませんが、みなさんの気持ちはしっかりと伝えたかったと思います。

その後は、津山警察署の方との話し合いと人間関係についての学習会にわかれまし。どちらのグループも、積極的に取り組んでいる様子がとても力強く感じました。実りのある時間でした。

体育館では、美作大学の県人会のみなさんによる「よさこい」や「エイサー」が演舞され、目の前で見られるパフォーマンスを心と体で楽しみました。実際によさこいの鳴子を鳴らしてみたり、沖繩の力強い音楽に触れて、リズムに合わせて、体が自然に動き出していたようでした。

最後に、地域で長年活躍されている「金時太鼓」のみなさんの演奏を聴き、実際にバチを持って太鼓をたたいてみるという貴重な体験も出来ました。参加されている方々の表情も、笑顔で、生き生きとされていて、見ていて胸が熱くなる光景でした。

最後の閉会式も無事に終わり、来年の再会をたのしみに大会が終了しました。

この本人大会は、本人たちの力で運営する、本人たちの力を信じて見守ることを大切にしたいと思っていました。それぞれに担当係りを持ち、その仕事を自分の出来る力を発揮して取り組んでくれました。時には戸惑ったり、不安になったり、そんな時には支えてくれる方に相談しながら力を合わせた大会でした。この経験がこれからの生活の中で、生かされていく事を願っています。

大会に参加してくださったみなさん、ボランティアとして支えてくださったみなさんに心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。

### 目次

○岡山県大会を終えて	1
○育成会県大会報告	2
○要望事項	5
○活動報告	6
○受賞者の紹介	7
・スペシャルオリンピックス	
・広告	
○生活サポート総合補償制度	8



津山手をつなぐ親の会・本人部会「なかまあず」です。本人大会の本人発表で「勇気100%」「パブリカ」「ネバネバ行進曲」を踊りました。みんなで踊って楽しかったです。



ホームページ <https://oka-iku2.sakura.ne.jp>  
e-mail [oka-iku@kirameki-plz.com](mailto:oka-iku@kirameki-plz.com)

## 手をつなぐ育成会岡山県大会

(津山大会)

今年度の県大会は、津山地域連絡協議会、真庭地域連絡協議会、勝英地域連絡協議会の共同開催で、津山市の美作大学を会場に開催しました。

参加者は、一般大会が二百三十六人、本人大会が二百二十九人の合計四百六十五人の参加がありました。開催に際しまして多くの関係団体やボランティアの方にもご協力をいただきました。開催地から経過報告とお礼を掲載します。

津山地域連絡協議会

会長 河本修治

第四十四回手をつなぐ育成会岡山県大会津山大会(三市五町二村の合同開催)が、令和六年十一月十七日、美作大学を会場に開催されました。

大会スローガンを、一般大会では『障害のある人が地域で豊かに生活するための意思決定支援』とし、植草学園大学副学長(教授)の野澤和弘氏による「障害のある人の豊かな生活を支える意思決定支援のあり方」をテーマに講演をして頂きました。

シンポジウムでは、意思決定支援について、瀬島完司氏・庄司宏行氏・久永侑加氏による発表とコーディネーターとして野澤和弘氏より助言を頂



シンポジウム

きました。

本人大会では『みんなで協力・楽しい交流』とし学習会では、みんなで余暇を楽しむなかまあずの活動と今後の目標への紹介と本人発表では、新見友情の会(新見市)・なかまあず(津山市)・レインポータートル(美咲町)さんがされました。分科会では、Aグループの話し合いでは、行政との話し合いと参加者による話し合いが行われBグループのレクレーションでは、郷土芸能鑑賞で勝央金時太鼓と、美作大学生の高知県人会・沖縄県人会さんによる踊りが披露されました。

最後に、岡山県手をつなぐ育成会をはじめ後援

団体等、多くの方々からご協力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。また大会にご参加頂いた皆様には、駐車場への道のりや大学構内が複雑でご不便をお掛け致しましたこと謹んでお詫び申し上げます。今大会で得た経験を今後の育成活動に役立ててまいりたいと思います。皆様、ありがとうございました。

## 集いつなぐこと

真庭地域連絡協議会

会長 瀬島完司

第四十四回県大会を県北三地区(真庭・津山・勝英)共催にて開催でき、無事終了しましたことに対し、参加者、関係者の皆様に感謝申し上げます。

私は、実行委員として初めて参加しました。

他の実行委員のお話を聞く中で、日頃の活動や考え方、人となりに触れることができ大変勉強になりました。地域ごとに担当分野を決め、それぞれに地域内で実行委員を気持ちよく引き受けてくださいました。今後の地域活動にも生かして頂けるものと思っています。

今回の大会スローガン『障害のある人が地域で豊かに生活するための意思決定支援』について、植草学園大学副学長(教授)の野澤和弘先生にご講演、シンポジウムのコーディネーターをお願いしました。障害者福祉制度、海外事例などを交え



## 講演会

ながら、ご自身の重度知的障害のあるご長男との意思の確認の難しさとその重要性についてご講演いただきました。愛情あふれる語り口に感動いたしました。また、シンポジウムに於いては、三地域より成年後見人、相談支援事業所、家族の三人から発表がありました。一口に意思決定支援と言っても、携わる立場によって違いのあることがよくわかりました。共通していることは深く愛情をもって接していることです。本人の尊厳に最大限留意しながら、意思の発露を促すことで、こちらの意向も伝わるのだと思います。本人がうまく表現できない鬱積した感情を持たずに生活できる

ように接していきたいと思えます。ご参加くださいました方々は、会場にてうなずきながら聞いておられました。今大会を契機に、明るい豊かな生活の実現にまずは自分から努力しましょう。そして私たちが手をつなぎ、みんなで共生社会の実現に努めましょう。

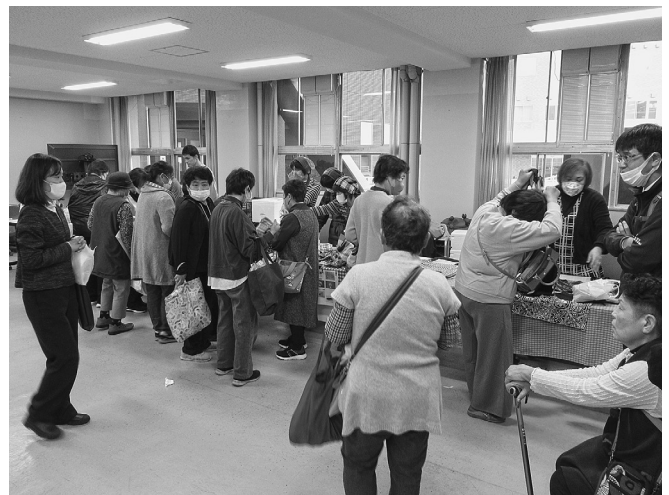
勝英地域連絡協議会

会長 山本 敏子

第四十四回手をつなぐ育成会岡山県大会（津山大会）に向け、令和四年十一月二十九日を一回目として各地域より代表者が集まり数ヶ月おきに話し合いました。令和六年四月からは実行委員も加わり育成会事務局からのご助言をいただきながら話しを進めました。津山大会は、昭和五十九年の一回目から数えて五回目になりました。

一般大会は、障害のある人が地域で豊かに生活するための「意思決定支援」をスローガンに二百三十六名の方にご参加いただき、開会式、表彰式に続き、テーマ「障害のある人の豊かな生活を支える意思決定支援のあり方」と題して植草学園大学副学長（教授）の野澤和弘氏にご講演をいただきました。

午後からのシンポジウムでは、補助人の立場から瀬島完司氏に、相談支援事業所の立場から庄司宏行氏に、家族の立場から久永侑加氏にご発表い



## 事業所生産品の販売

ただきました。

本人大会は「みんなで協力・楽しい交流をスローガンに二百二十九名の方にご参加いただき、開会式表彰式に続き、学習会本人活動、発表会本人活動、発表会、分科会を行いました。レクリエーションでは勝中央金時太鼓と美作大学の学生（高知県人会、沖縄県人会）の演技で楽しみました。

この大会にあたり津山、真庭、勝英連絡協議会、家族会、事業所、行政の方、誕生寺支援学校のPTA、その他ボランティアの皆様にお力添えをいただき、津山大会を終えることができました。この場をおかりして御礼感謝申し上げます。

# 本人大会

本人大会には、約二百四十人の参加がありました。今年の大会も、県下の本人の会のメンバーを中心に、津山地域自立支援協議会の方など、多くの方に協力をいただきながら大会運営を頑張りました。

## 受賞者 四十二名

今年は四十二名の方が表彰を受けました。

B型事業所や生活介護事業所の利用者も表彰対象者になり、人数が増えました。仕事や生活で頑張ってきた人たちに、参加者から大きな拍手がありました。おめでとうございます。

## 学習会

「なかまあず」が、「みんなで余暇を楽しむ」をテーマに、本人活動の発表をしました。

「ポッチャ」や「なかまあず食堂」、「ダンス」など、取り組みの様子を、パワーポイントを作成し



なかまあず食堂の発表



受賞者

### ◇話し合い お世話になりました◇

- 行政の方との話し合い  
(真庭市・美作市の福祉担当の方)
- 公共の場でのマナーと安全  
(津山警察署の方)
- 人間関係づくり (SST)  
(美作大学の先生・学生)



コミュニケーションスキルの学習

## 午後の分科会

### 本人発表

新見友情の会、なかまあず、レインボータートルから発表がありました。

☆☆☆☆☆  
発表ではそれぞれの考えや思いがあり聞いていて勉強になりました。堂々とされており、言いたいことや自分の好きなことが伝わってきて感動しました。

(参加者の感想)

て、進行もみんなで役割分担をしながら発表しました。参加者も一緒に踊ったダンスも楽しかったです。

## 本人大会

みんなで協力  
楽しい交流

多くの方の支援・  
協力をいただき、  
ありがとうございました。



力強い太鼓の演奏



県人会にお礼のことば

### ◇レクリエーション◇

県人会（高知県人会・沖縄県人会）による伝統舞踊と勝央金時太鼓による太鼓の演奏を楽しみました。

# 今年度の要望事項

## 物価高騰に対する対応

- ① 知的障害者の実態を踏まえた経済支援
- ② 障害福祉事業所がエッセンシャルワークとして機能を果たしていくために安定した必要な支援特に食事提供体制加算の恒久的位置づけ

## 共生社会に向けての啓発活動

- ① 相模原市の障害者施設での悲惨な事件を風化させないための啓発活動を合理的配慮の理解促進
- ② 職場での合理的配慮の理解を進めるための職場でのキーパーソンの配置と研修
- ③ あいサポート運動やヘルプマークの普及・啓発活動

## 相談支援体制の整備

- ① 各市町村で相談支援体制の必要性の理解と、基幹相談支援体制を核とした相談支援員のスキルの向上や計画相談の実効性の高揚
- ② 報酬単価の引き上げなどによる相談支援相談員の人数の増員

## 安心・安全な地域生活支援・高齢化への対応

- ① グループホーム  
・重度の障害のある方や強度行動障害の方がグループホームを利用できるための方策
- ② グループホーム現場での視察を含め外部の目を含めた透明性のある運営の推進
- ③ 障害者が定期健康診断を受けることができる体制の構築
- ④ ①相談 ②緊急受け入れ ③体験の機会・場 ④専門的人材の養成
- ⑤ 地域の体制づくりの継続的な機能強化
- ④ 福祉事業所関係職員の待遇改善について国へ働きかけ

## 自然災害への対応

- ① 個別の避難計画・直接避難できる指定福祉避難所等の市町村による災害要支援者への対応
- ② 通所・通学している場所や特別支援学校等への福祉避難所の指定及び備蓄物品等の経費支援

## 権利擁護

- ① 行動障害に対応できる人材の育成や地域の課題として地域生活支援拠点等を核とした支援体制の構築
- ・行動障害に対応した少人数定員でも運営可能な事業所類型の新設

## 労働と雇用

- ① A型事業所の廃止やB型事業所への移行にともなう利用者の不安解消や就労等についての相談支援の体制の整備

## 特別支援教育

- ① 進路  
・事業所の縮小や支援員の負担過多等による重度の生徒の進路選択の減少に対する取組
- ② 不登校  
生徒への取り組みの周知と地域のネットワークでの対応強化

## 国への要望

- ① 年金額引き上げや住宅扶助や医療扶助的な加算給付の創設の検討
- ・紙の保険証の廃止にともない、発行される「資格確認証」の使用が継続でき、通院等で不安が生じない柔軟な対応

\* 要望書の全文については、ホームページをご覧ください。

### 権利擁護研修会

○演題 高齢化の問題

よい支援者の探し方 ～相談支援の必要性・重要性～  
地域生活支援拠点、成年後見制度のことも

講師：又村 あおい 氏

(全国手をつなぐ育成会連合会  
常務理事兼事務局長)

おかやま知的障害児者サポート協会との共催による3年計画の研修会で、3年目の研修会を行いました。支援拠点の機能や成年後見制度の見直し、地域連携ネットワーク構築や成年後見制度の見直し、地域連携等ネットワーク構築についてお話ししていただきました。

### 特設研修会

○「熊本地震から学ぶ

～親として備えておきたいこと～」

講師：西 恵美 氏

(全国手をつなぐ育成会連合会副会長  
熊本県手をつなぐ育成会会長)

○「岡山県福祉避難所の現状と課題

—災害教訓は活かせるか—」

講師：中野 ひとみ 氏

(中国短期大学 総合生活学科教授)

能登半島地震・熊本地震や豪雨災害が頻発している近年、災害から私たちが学ぶべきことを具体的な事例を挙げて紹介していただきました。

### = 療育相談懇談会 =

特別支援学級在籍児の保護者を対象に、津山市、新見市、瀬戸内市、笠岡市 玉野市、総社市、井原市で療育相談懇談会を行いました。今年度は前半に社会保険労務士による障害年金の説明と後半は地域にある障害者施設の施設長や基幹相談支援センターの方をまじえて生活・進学・就労などの悩みを話し合いました。特に若い方の参加が多く、不登校、中学校卒業後の進路や就労にかかる悩みについて相談機関や支援学校や各事業所の内容や機能について講師の先生方から具体例をまじえながらお話いただきました。

### 行動障害療育研修会

「発達障害児者のコミュニケーションの支援  
～自分を知ること・他者を知ること～」

講師：小田 桐 早苗 氏

(川崎医療福祉大学 講師)

今年度は、発達障害児者のコミュニケーションの支援をテーマに支援のあり方を考えて行く予定です。コミュニケーションは保護者・支援者にとって多くの悩みをかかえるところです。たくさんの方々のご参加をお待ちしています。(2月3日開催)

### 県委託「ボランティア活動支援事業」

特別養護老人ホームきのこ荘の居間の窓拭きや床ふきなど清掃活動活動をしました。暑さの厳しい中中でしたが「やりがい」を感じながら一生懸命に取り組みました。



いばら育成会「いばらっ子隊」の活動

## 受賞された方々 おめでとうございます

全国手をつなぐ育成会連合会会長表彰

井笠地域重度障害児者親の会「すてっぴ」 畝 川 いずみ 様

中国・四国地区手をつなぐ育成会会長表彰

岡山県手をつなぐ育成会 会長 田 中 美保子 様

ダウン症児親の会 あひるの会 事務局

岡山県手をつなぐ育成会 理事 岡 本 明 子 様

岡山ももの会 副会長 林 かおり 様

育成会活動にご尽力、ご支援をいただきましてありがとうございました。

### スペシャルオリンピックス日本・岡山 (SON・岡山)

“明日は今日より良い笑顔で！ 前へ進め！”

初の分散開催となった「2024年第8回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム」は2023年11月18日～19日長野、2024年2月11日～12日北海道、2月24日～25日長野へそれぞれアスリート2名づつを輩出し前回の分まで頑張りました。

近隣県のアスリートも多数参加頂いた『2024年第15回岡山地区大会』は6競技で開催し、アスリートの輝く笑顔に溢れていました。

今年スペシャルオリンピックス日本・岡山はいよいよ設立20周年を迎え記念行事も開催予定です。

私達は知的障害のある人たちにスポーツトレーニングと競技会を提供し社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。知的障害のある方と一緒に競技するユニファイドスポーツにも注力しています。



『2024年第15回岡山地区大会・陸上』

知的障害のある方・共に競技する方のご入会をお待ちしています！

HP: [http://blog.livedoor.jp/son\\_okayama/](http://blog.livedoor.jp/son_okayama/)

スペシャルオリンピックス日本・岡山

名誉会長 松田久 会長 吉田大助

Tel: 086-206-2071 Mail: [okayama@son.or.jp](mailto:okayama@son.or.jp)

## タクシーをアプリで呼ぶなら



# TAXI.come

タクシードットカム

- タクシーの現在位置が見える！ ● 行先の事前設定でスムーズなご利用！  
アプリ内で空車が表示されます。
- 事前決済でスムーズなお支払い！  
クレジットカード登録で現地支払い不要のネット決済が利用できます。

7万  
ダウンロード  
達成！

※2024年12月時点

無料\*

App Store  
からダウンロード

Google Play  
からインストール

今すぐ  
ダウンロード!

※ご利用にかかる通信費  
(パケット代)は除く



両備タクシーセンター 岡山交通 岡山両備タクシー 津山タクシー

発達障がい児者の方も  
ご加入いただけるようになりました。

# 知的障がい児者・自閉症児者の 生サポは 家族の安心を支えます

- 日常生活に関する相談支援
- 就労に関する相談支援
- 権利擁護に関する相談支援

の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、知的障がい児者、自閉症児者のための  
病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

## 主な補償内容

病気やケガで入院したとき  
入院給付金

賠償責任を負ったとき  
個人賠償責任補償

ケガをしたとき  
死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金  
(地震・噴火・津波によるケガも対象)

虐待・逮捕・勾留に対応するとき  
弁護士費用等補償  
※プランによって補償します

病気で死亡したとき  
疾病葬祭費用保険金  
※プランによって補償します

就労中に他人にケガをさせたり  
物を壊してしまったとき  
職業従事中事故対応費用補償  
※プランによって補償します

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

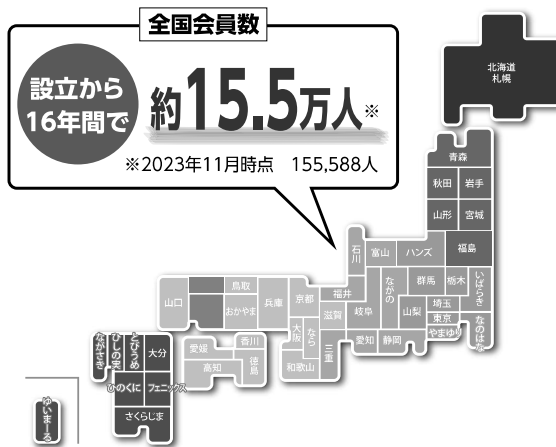
### ● 生活サポート総合補償制度の主な特長 ●

- ▶ 入院給付金は既往症の病気、てんかんも補償。
- ▶ 全国の団体を通じてのご加入のため、多数割引が適用され、個人加入の場合に比べて保険料が割安です。
- ▶ 取扱代理店は、知的障がい児者や自閉症児者への保険の販売において、30年以上の実績があります。

生活サポート総合補償制度は…

全国で約15.5万人※のみなさまに  
ご利用いただいている補償制度です。

※2023年11月時点



AIG損保の普通傷害保険

## 生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、  
職業従事中事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

### 保険のお問合せはこちら

■ 担当代理店・扱者

ジェイアイシーウエスト株式会社

〒540-0026 大阪市中央区内本町1-1-1 OCT 7階

TEL: 06-6941-5187 FAX: 06-6944-1728

https://www.jicwest.com/

受付時間: 午前10時～午後4時

(土・日・祝日・年末年始を除く)

■ 引受保険会社

AIG損害保険株式会社

https://www.aig.co.jp/sonpo

大阪プロチャネル営業部

〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪タワーB 36階

TEL: 06-7223-2010

受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

### ご入会のお問合せはこちら

おかやま知的障害児者生活サポート協会

〒700-0807 岡山市北区南方2丁目13-1

岡山県総合福祉ボランティア・NPO会館2F

一般社団法人岡山県手をつなぐ育成会内

TEL: 086-801-3890 FAX: 086-801-3891

2024年1月現在の内容です。(D-007012 2025-03)